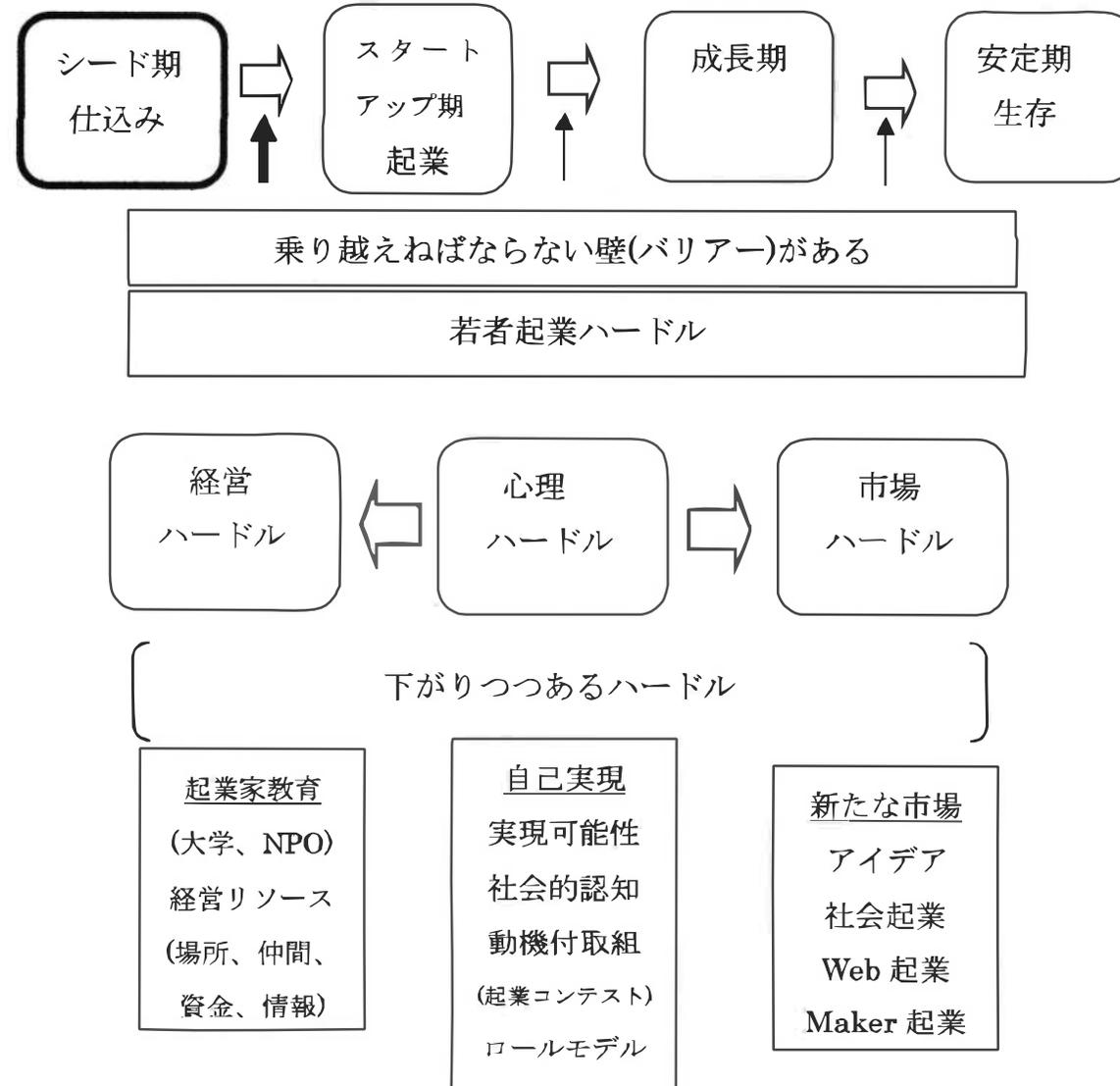


# 若者の起業を増やすには どうしたらよいか

2015.10.20

専修大学大学院経済学研究科長・教授  
前 KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネスアカデミー長  
徳田賢二

# 超えなければならぬハードル



# ① なぜ若者起業ハードルが高いのか？

『教育よりも経験がものを言う世界である。』

起業には乗り越えなければならない壁(バリアー)  
経営ハードル、心理ハードル、市場ハードル

シード期の仕込み問題

必要な経営知識、経営リソース確保の難しさ。  
企業経験者の優位性 Ex 40、50歳スピンアウト  
メンターの存在

# シリコンバレー 『戦略の本質』

起業の大前提

危機を乗り越える力



例外ない高い専門性



メンターの存在



## ② 起業ハードルは下がっている

『さとり世代～合理的なリスク判断をする世代～』

不況下で育った世代、リスクとリターンのバランス重視  
合理的なリスク判断(不確実なことはしない)



若者ほど背負っているものは小さい  
一国一城、自己実現の魅力  
彼らが得意とする分野  
ブレイクスルーはリスク判断力

### ③ 官民で何をしていく必要があるか。

専門性の高い起業家教育

+

経営リソース提供

+

自己実現機会提供

+

新たな市場開拓

# かわさき起業家オーディション 株式会社7th heaven&Co.



所在地：東京都品川区東品川2丁目2番28号  
設立：平成27年1月  
代表取締役：天上 博規 氏

地方都市も活性！？  
Jリーグのサポーターが利用するニュース&コミュニケーション アプリ

JOOY

# ④ 起業家教育とは?

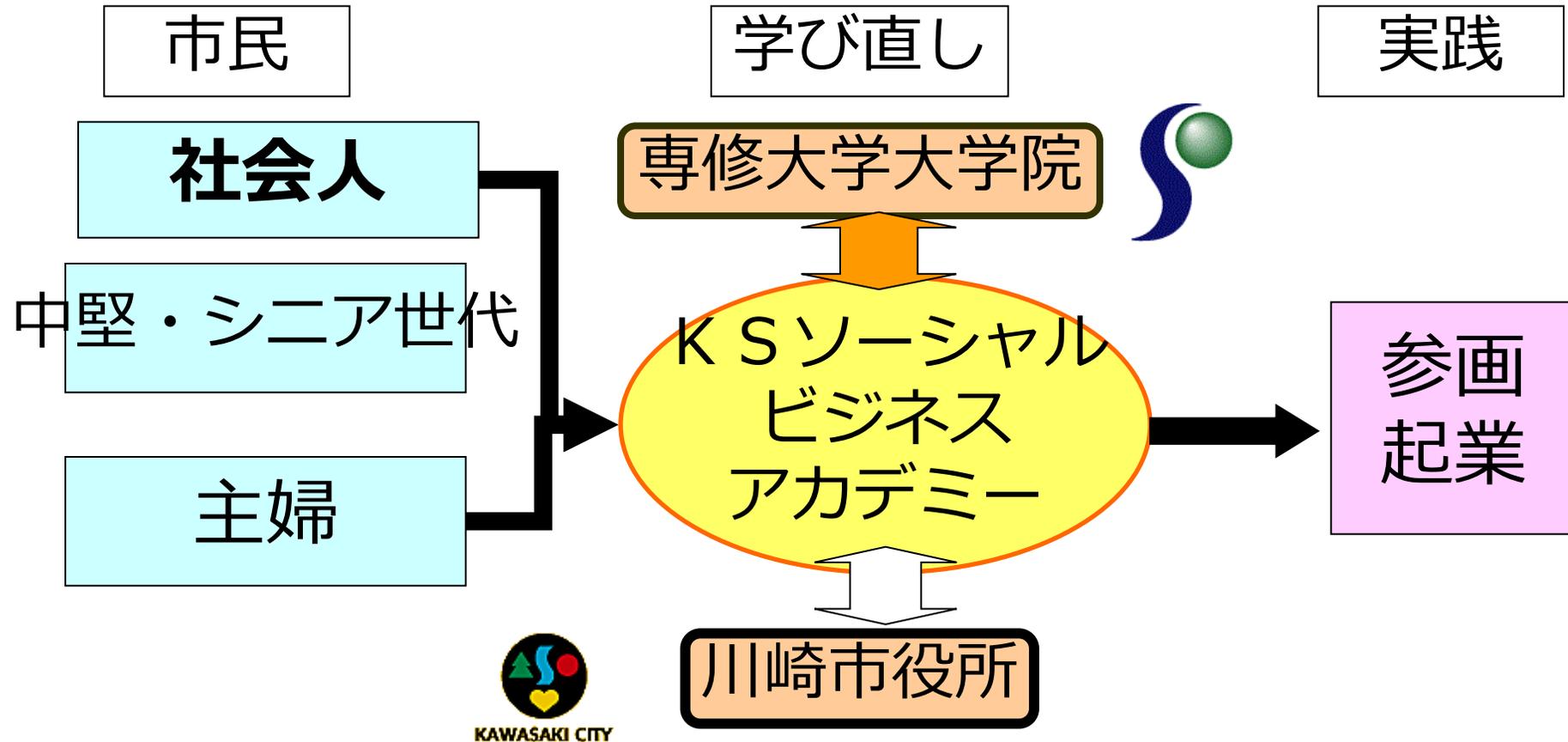
『KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネスアカデミーの経験』

大学院(履修証明書)課程  
修了必要時間 120時間以上  
平成20年度から250名の修了生輩出  
20代～70代、約2割が若者世代

協働(官・民・企・教)  
理論と実践  
ロールモデル  
ハンズオン指導

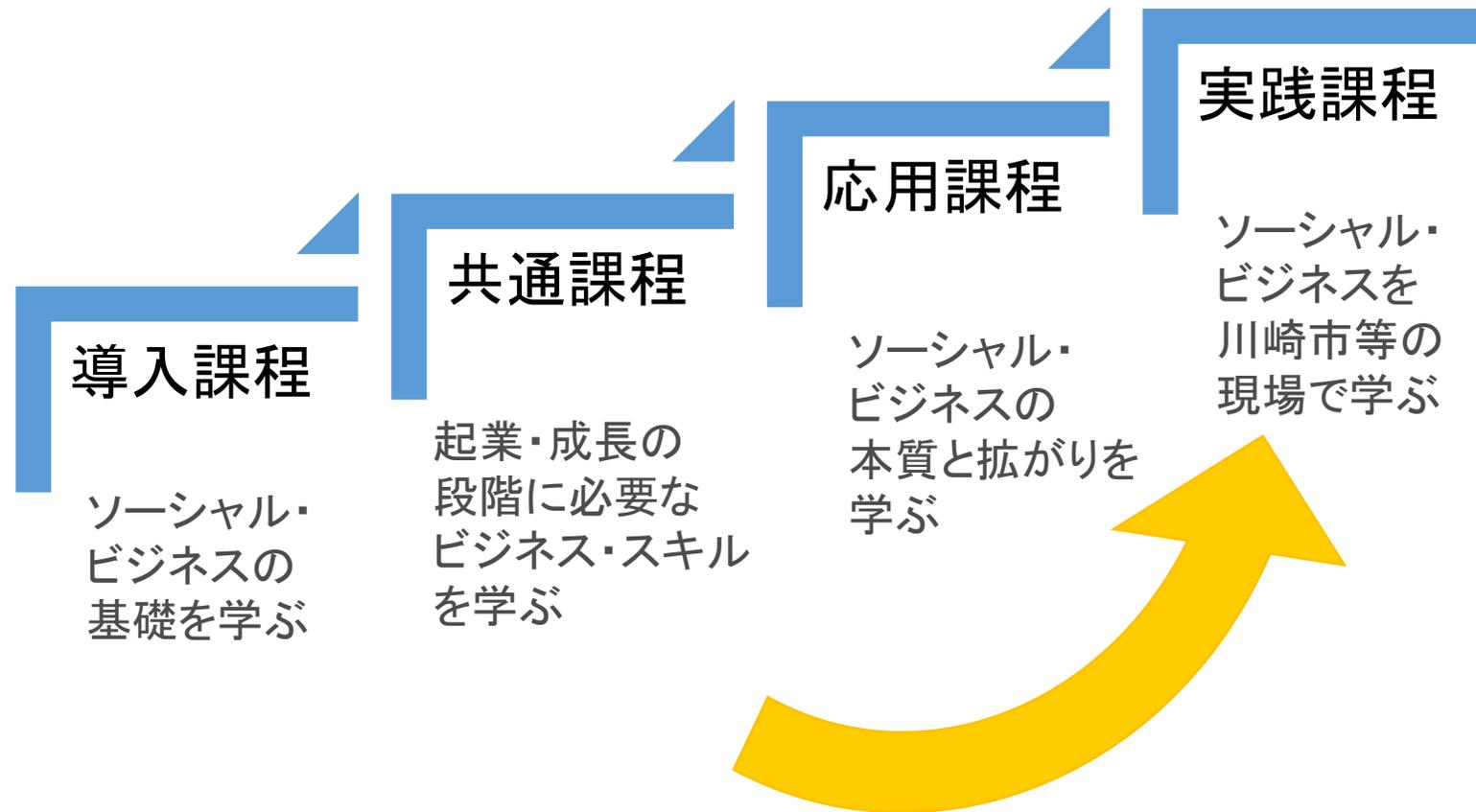


# 川崎市役所と専修大学の協働



# 系統的な学習システム

～基礎から大学院レベルまで無理なくステップアップ～



# 理論と実践

導入課程	共通課程	応用課程	実践課程
ソーシャル・ビジネス入門	地域活性化プラン ～川崎市・多摩区を中心として～	市民ビジネス・リレー講義	ソーシャル・ビジネス実践力
都市のまちづくりと社会参画	ソーシャル・ファイナンス	CSRとソーシャル・ビジネス・リレー講義	現場研修
事例にみる ソーシャル・ビジネス 現状と課題	NPOの社会的成果と ビジネスモデル	各人の事業計画 づくり	修了レポート指導
事業創造のポイント	広報・情報戦略	<b>講義, 演習, 現場研修(実習)</b>	
グループワーク	社会的事業における ソーシャル・マネジメント		
	ソーシャル・ビジネスの 現場視察	<b>全17科目</b>	

# 「プラットフォーム」への参加・活用

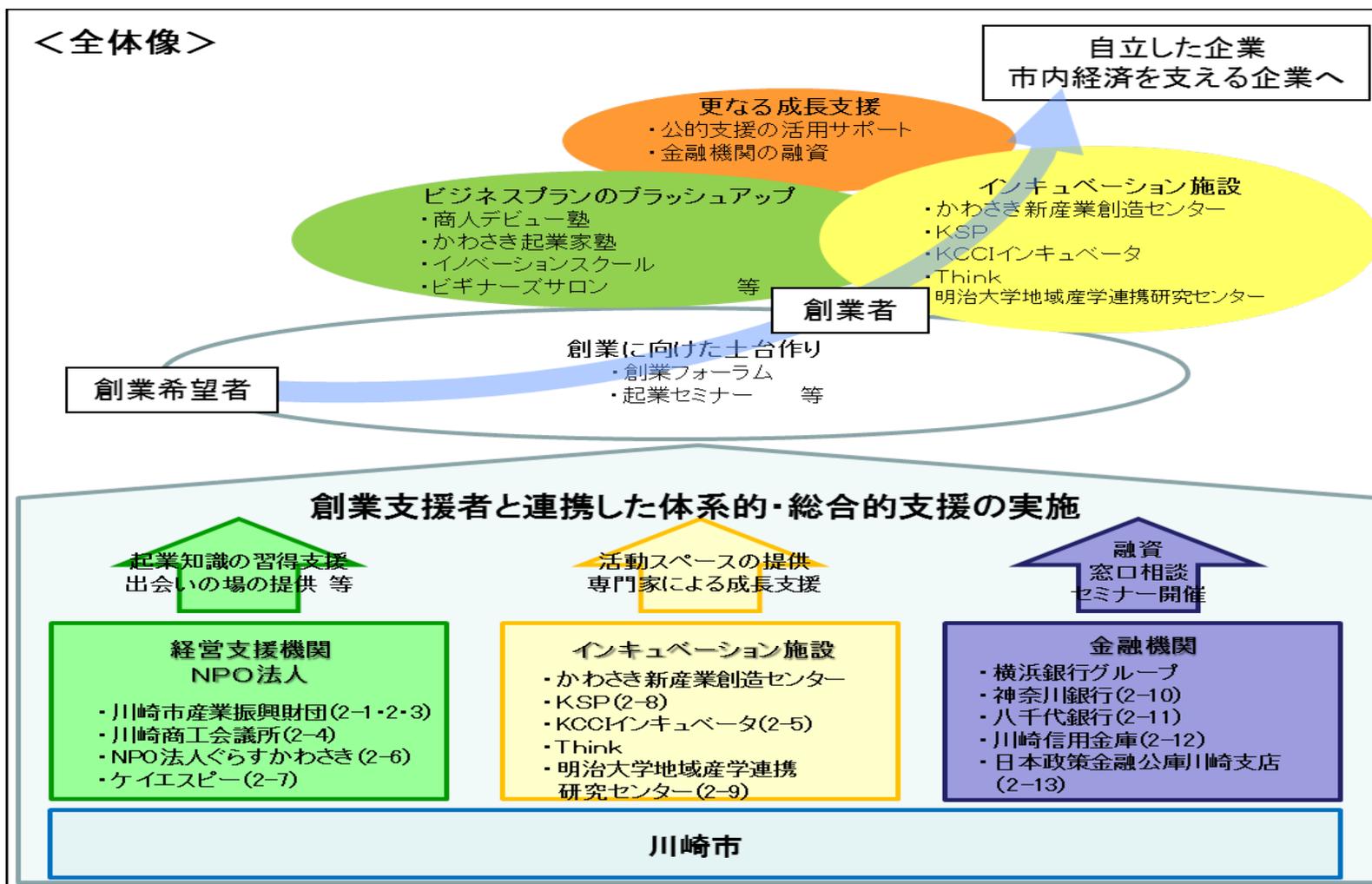
プラットフォームとは  
「即断即決できる“仲間＝専門家”集団」



人脈・ノウハウの宝庫

# 「川崎市創業支援事業計画」

## 29歳以下の方は416名（22%）



# 起業しやすい社会をつくる

## 神奈川を若者起業のメッカに

